

### 3. 実践学習

農林業者として必要な実践能力を身につけるため、学科毎に、講義、実験・演習、実習を有機的に関連させながら農業経営等に必要な知識、技術を習得させる。

さらに主体的に学習に取り組ませるため、一人一課題を基本とするプロジェクト手法による学習を展開する。その成績をもとに卒業論文をまとめ、経営者感覚を磨かせる。

#### (1)実践学習体系

別表1

#### (2)実践学習内容

別表2

#### ア. 専攻実習

1年次は、学科毎に、ほ場・施設を活用しての基本技術の習得を重点とする。さらに卒業論文を進めるための調査方法を習得させる。

2年次は、卒業論文の取り組みを進めながら、栽培技術等の実践学習を深めさせる。

#### イ. 卒業論文

営農に必要な基礎的知識、技術の習得と自主学習を助長するため、下記の流れて、自ら設定した課題の調査研究を実施させる。

[ 課題設定 — 計画樹立 — 実践 — 評価 ]

[課題設定—計画樹立] 我が家の営農の現況や地域農林業の現状、技術動向を踏まえ、1年次に作成させる。

[実践—評価] 調査記録簿を整理しながら、計画的に調査を進め、職員の指導のもと、成績の解析、取りまとめを行う。

#### ウ. 先進農業者等体験学習・食品関連産業実習・先進林業者等体験学習

先進農業者等の経営や生活の実際を体験し、農林業者として必要な実践的な知識技術を習得し、経営者感覚を磨かせる。

さらに、就農等に向けた助言を受けながら、農林業への意欲を高めさせる。

別表1 実践学習体系【1学年】

学年	時期	[教育目標]	[到達目標]	[教育内容]
1 学 年	4月 ～ 6月	<p><b>適応力養成期間</b></p> <p>教育目標</p> <p>自主性の養成(自立心と強調性の醸成)</p> <p>到達目標</p> <p>実践を通して学習の目標を持つ</p> <p>1)専攻実習を通し、農林業の基礎を学ぶ 2)実践学習の特徴を理解し、目標を持つ</p>		<p>導入実習 相談活動</p> <p>*三者面談(5月)</p> <p>地域協働研究</p> <p>体験学習前期(6～7月) (林業除く)</p>
	7月 ～ 3月	<p><b>実践力養成期間</b></p> <p>教育目標</p> <p>主体性・実践力の養成 (学習意欲の高揚)</p> <p>到達目標</p> <p>農林業の魅力を実感し、 将来の経営目標の設定</p> <p>1)プロジェクト学習の基礎を学ぶ 2)学習のまとめ、分析の基礎を学ぶ</p>		<p>卒業論文予備学習</p> <p>体験学習後期(9～10月) (林業前期)</p> <p>相談活動 *三者面談(11月)</p> <p>地域協働研究</p> <p>卒業論文計画(2～3月)</p>
2 学 年	4月 ～ 12月	<p><b>実践力アップ期間</b></p> <p>教育目標</p> <p>豊かな人間性と主体性の確立 (リーダーシップの確立)</p> <p>到達目標</p> <p>主体的な取り組みにより、 実践学習の効果を高める</p> <p>1)卒業論文を通し、農業者としての課題解決 手法を身につける。 2)卒業論文の作成や先進農業者事例を学び、 経営感覚を養う。 3)卒論・プロジェクト発表で、校内外への発信 力を養う。</p>		<p>卒業論文実施</p> <p>相談活動 *三者面談(5月)</p> <p>中間検討(7月)</p> <p>林業は体験学習</p> <p>相談活動 *三者面談(11月)</p> <p>成績まとめ(12月)</p>
	1月 ～ 3月	<p><b>総括期間</b></p> <p>教育目標</p> <p>実践力のある農業者の育成</p> <p>到達目標</p> <p>優れた経営感覚の養成</p> <p>1)卒業論文のとりまとめ、発表</p>		<p>卒業論文発表(1月)</p> <p>卒業論文作成完了(2月)</p>

別表2 実践学習内容

1学年 教育計画 [稲作経営学科]

時期		実習内容			演習内容	校外研修 場所・内容
月	旬	<水 稻>	<大 豆>	<販 売>		
4	上	種子予措 播 種			[ミニプロジェクト]	
	中					
5	下	耕 起 本田施肥 代かき			[基肥施用] [苗調査] [除草剤施用]	地域協働研究
	上	移植・直播 除草剤散布				
6	中	畦畔草刈	大豆種子予措 播 種	農大市場	[生育調査] [生育診断]	体験学習① 地域協働研究
	下	作 溝	大豆 中耕・培土①			
7	上	畦畔草刈	大豆 中耕・培土②		[穂肥施用] [病害と虫害]	地域協働研究
	中	穂 肥				
8	下	病害虫防除①	大豆防除①	農大市場	[出穂期調査] [穂揃期調査]	
	上	畦畔草刈				
9	中	病害虫防除②	大豆防除②	農大市場	[成熟期調査] [坪刈り方法]	体験学習②
	下	病害虫防除③				
10	上	畦畔草刈	大豆防除②	農大市場	[成熟期調査] [坪刈り方法]	体験学習②
	中	ほ場排水				
11	下	収 穫 乾 燥 調 製 出 荷	大豆収穫	農林水産祭	[収量調査]	耕畜連携 地域協働研究
	上	機械点検整備	大豆乾燥	農大祭	[分解調査] [品質調査] [食味調査]	県外研修
中	収量調査					
12	下	分解調査	大豆調製		[成績まとめ]	地域協働研究
	上	品質調査				
1	中	食味調査	大豆加工		[卒論計画作成]	醸造研修
	下					
2	上				[計画発表会]	
	中					
3	下				[計画発表会]	
	上					

1 学年 教育 計 画 [ 果樹経営学科 ]

時期		実 習 内 容					演 習 内 容	校 外 研 修 場 所 ・ 内 容
月	旬	りんご	おうとう	ぶどう	西洋・日本なし	もも		
4	上 中 下		摘 芽	結果母枝誘引(棚)		摘 蕾 ↓	接ぎ木 花粉採取・保存 防 除	地域協働研究
5	上 中 下	摘 花	人工受粉 摘 果	芽かき 雨よけ設置	摘 花	摘 果	人工受粉 着果管理	地域協働研究
6	上 中 下	摘 果 ↓	雨よけ設置 着色管理 収 穫	GA処理、摘芯 房づくり		新梢管理	着色管理 房作り・摘粒 出荷調整	果樹先進技術論 体験学習(前期) 地域協働研究
7	上 中 下	新梢管理、摘果 ↓		摘 粒		新梢管理	出荷調整 販売実習 新梢管理	温暖化対応果樹栽培技術論
8	上 中 下		夏期せん定	収 穫		収 穫	果実調査 出荷調整	
9	上 中 下	着色管理 収 穫	施 肥	施 肥	収 穫	施 肥	芽接ぎ 果実調査 販売実習	果樹先進技術論 体験学習(後期)
10	上 中 下			施 肥			果実調査 土壌調査 販売実習	果樹先進技術論 温暖化対応果樹栽培技術論
11	上 中 下		せん定	せん定			果実調査 販売実習	マーケティング 演習
12	上 中 下	野そ対策					越冬対策	
		雪害対策(～3月)						
1	上 中 下	せん定	せん定	せん定	せん定		花芽分化調査 卒業論文計画 作成	
2	上 中 下						名人剪定	果樹先進技術論
3	上 中 下							

1 学年 教育 計 画 [ 野菜経営学科 ]

時期		実 習 内 容						演 習 内 容	校 外 研 修 場 所 ・ 内 容	
月	旬	<果菜類>		<葉茎菜類>		<根菜類><山菜類>				
		トマト	すいか	きゅうり	キャベツ	ねぎ	さといも	うるい		
4	上 中 下	播種	播種			播種	芽出し	株分け	土壌調査	
5	上 中 下	定植	接ぎ木 ↓ 定植	播種 ↓ 接ぎ木 ↓ 定植		定植	定植	定植	苗質評価 販売実習	地域協働研究
6	上 中 下	追肥		収穫					生育調査 販売実習 〔ミニプロジェクト学習〕	体験学習
7	上 中 下	収穫	収穫		播種				生育調査 病害虫調査 収量調査	園芸農業研究所 (次世代型施設) 庄内産地研 (ネットメロン)
8	上 中 下				定植				品質調査 販売実習	地域協働研究 北村山農業技普 (すいか)
9	上 中 下						収穫		病害虫調査 販売実習 生育調査	最上農業技普 (ねぎ、アスパラ ガス) 体験学習
10	上 中 下				収穫	収穫			収量調査 品質調査	地域協働研究
11	上 中 下						根株 掘り取り		販売実習	地域協働研究 市場流通研修 (県外市場)
12	上 中 下						根株 保管		[まとめ] [卒業論文計画 書作成]	
1	上 中 下						伏せ込み		*経営内容 調査(各自)	
2	上 中 下	卒業論文研究の 育苗および資材準備					収穫		*発表練習	最上産地研究室 (たらのめ)
3	上 中 下								[卒業論文計画 発表会]	

1 学年 教育計画 [花き経営学科]

時期		実 習 内 容			演 習 内 容	校外研修 場所・内容
月	旬	<露地切り花> アスター きく	<ハウス切り花> ダリア トルコギキョウ ストック	<苗物、鉢物> 花壇苗 シクラメン		
4	上 中 下	播種	挿し芽	播種 鉢上げ	ハウス管理 鉢上げ用土作成 花壇苗栽培管理	
5	上 中 下	定植	定植	播種 出荷	花壇苗出荷調整 切り花栽培管理 地域協働研究	
6	上 中 下	定植	整枝 定植	播種	花壇苗植栽 地域協働研究 販売実習	体験学習①
7	上 中 下	収穫	整枝 定植	播種 播種 鉢替え	切り花栽培管理 病虫害防除	最上地域 (りんどう等)
8	上 中 下	収穫	収穫	播種 鉢上げ	切り花出荷調整 鉢上げ用土作成 販売実習	
9	上 中 下		収穫	播種 葉組み	切り花出荷調整 販売実習 病虫害防除	市場流通研修 (県内) 体験学習②
10	上 中 下		親株 移植	播種 播種 葉組み	切り花出荷調整 地域協働研究	市場流通研修 (県内) 先進技術論
11	上 中 下		収穫	播種 出荷 出荷	鉢花・花苗出荷調整 販売実習	市場流通研修 (県外)
12	上 中 下				冬期温室管理	
1	上 中 下			春夏用	卒論論文計画作成 地域協働研究	村山地域 (啓翁桜等)
2	上 中 下			播種	卒業論文計画作成 花壇苗育苗管理	
3	上 中 下			鉢上げ ホット 上げ	卒論計画発表 花壇苗栽培管理	

1 学年 教育 計 画 [ 畜 産 経 営 学 科 ]

時期		実習内容						演習内容	校外研修 (場所・内容)
月	旬	肉用牛飼養管理		乳用牛飼養管理		飼料生産管理			
		繁殖牛管理	育成牛管理	肥育牛管理	経産牛管理	放牧	自給飼料生産		
4	上 中 下	飼料給与	初乳給与	飼料給与	飼料給与と搾乳	早春追肥と雑草防除	トウモロコシ播種と除草剤散布	飼料給与と生体反応 泌乳ホルモン反応	
5	上 中 下	健康状態把握	哺育育成	健康状態把握	搾乳衛生	放牧施設整備		健康状態と糞の性状 放牧の意義と行動	地域協働研究
6	上 中 下	発情鑑定と授精		ビタミンコントロール	飼料設計	入牧 追肥	トウモロコシ畑雑草防除	発情兆候と行動 搾乳牛の栄養管理	体験学習 (前期)
7	上 中 下		離乳	肥育度把握	健康状態把握			ビタミンAコントロール手法	地域協働研究
8	上 中 下		育成前期子牛育成		乾乳期栄養管理			牧草の生育と消化性 クローズアップ期の栄養管理	肥育経営視察
9	上 中 下	分娩兆候鑑定と分娩介護 初乳給与			分娩兆候鑑定と分娩介護	追肥	トウモロコシ収穫調製	初乳給与の意義と給与法 助産方法	地域協働研究 体験学習 (後期)
10	上 中 下				泌乳初期	下牧	付刈り収集	卒業論文予備学習 調査集計方法演習	地域内自給飼料生産利用の取組み視察
11	上 中 下	早期離乳と子牛育成	育成中期子牛育成			放牧施設撤去		増給方法	繁殖経営視察 地域協働研究
12	上 中 下								
1	上 中 下	削蹄			削蹄			削蹄の意義と効果 卒業論文計画書作成	酪農経営視察 地域協働研究
2	上 中 下								
3	上 中 下							卒業論文計画発表会	

1 学年 教育 計 画 [ 農 産 加 工 經 営 学 科 ]

時期		実 習 内 容		演習内容	校外研修 ・ 販売実習
月	旬	<農業生産実習>	<農産加工実習>		
4	中下	は種	稲 製麴・味噌仕込み 甘酒つくり 麴の漬物加工 製粉(米粉) ふきのとう・よもぎ 摘み	一般衛生管理麴・味噌仕込み、塩分計算	
5	上中下	定植	果樹 殺菌の基礎(瓶詰・缶詰) ジャム加工	瓶詰加工の基礎、糖計算、酸測定、HACCP方式	
6	上中下		果樹 基本的洋菓子加工 笹の葉摘み おうとう収穫・加工 米加工(伝統菓子、餅、笹巻)	果実品質調査 原料の冷凍	直売所研修① 体験学習① 農大市場① 食品衛生責任者講習
7	上中下		野菜 しそ収穫 梅干し加工 しそ巻き ベリー類収穫加工	原料の塩蔵	
8	上中下	収穫・片付け	菜生 しそジュース加工 トマト収穫、冷凍保存(ジュース・ケチャップ) ブドウ・ももジュース加工 しそジュース加工	乾燥保存	農大市場②
9	上中下		産実 製品化 乳製品加工(チーズ・ヨーグルト) えだまめ収穫 むき豆加工	細菌検査	農大市場③ 体験学習②
10	上中下		産実 りんご加工(ジュース・ジャム・菓子)	味噌の品質調査	農林水産祭 食品産業視察
11	上中下		漬物加工 西洋なし加工(ジャム・ジュース)	果実加工品の品質評価	農大祭(農大市場④) 販売実習(県アンテナショップ)
12	上中		製品化 りんご加工(ジュース)	微生物試験	
1	上中下		食品品質評価演習 乳製品加工(セミハードチーズ)	品質評価、製造計画と原価計算	
2	上中下		大豆加工(豆腐・菓子)	卒業論文計画作成、計画発表会	工業技術センター(酒類研究)視察
3	上中				



1 学年 教育 計 画 [ 林業経営学科 ]

時期		実習内容 (講義との関連)			演習内容	校外研修 (場所・内容)
月	旬	[造林・経営]	[機械]	[林産]		
		樹木、森林生態、造林・育林Ⅰ、森林計測	労働安全管理と救命救急、林業機械Ⅰ	林産		
4	上 中 下	測 樹	チェーンソー、刈払機の構造		・チェーンソー、刈払機の構造及びメンテナンス ・樹高、胸高直径の計測	
5	上 中 下	植 栽 測 量	チェーンソー、刈払機の基本操作 労働安全管理と救命救急	山菜の種類・食味	・チェーンソー、刈払機の基本操作 ・測量基礎 ・苗木植栽技術 ・山菜の種類と食味	
6	上 中 下	林分調査 下 刈	伐木造材特別教育 刈払機安全衛生教育 伐木造材 (基礎)		・林分調査の基礎 ・下刈の方法 ・伐採の基礎	
7	上 中 下	森林の分布 除 伐 病虫害防除	生産システム 小型車両系建設機械 (特別教育)		・伐採搬出システム ・森林分布 ・除伐の方法 ・病虫害の種類と防除	
8	上 中 下	間伐設計 (測量)	車両系木材搬出機械 (高性能林業機械) 特別教育		・間伐の設計 ・測量基礎 (コンパス)	・間伐設計: 測量 (管内県営林)
9	上 中 下	間伐設計 (選木) ツリークライミング講習 間伐設計 (伐採)	車両系木材搬出機械 (高性能林業機械) 特別教育		・間伐 (選木と伐採) ・ツリークライミング	
10	上 中 下	間伐設計 (伐採) 植 栽 苗畑実習	伐木造材 (労働安全)	木材加工施設現地研修	・苗木の生産方法 ・苗木の植栽方法 ・高性能林業機械の基本操作	・木材加工施設 (県外等)
11	上 中 下	枝打ち	高性能林業機械操作 伐木造材 (主伐)	特用林産物生産施設学習 原木伐採 原木きのご栽培	・枝打ちの方法 ・間伐 ・高性能林業機械の基本操作 ・原木伐採、植菌	・きのご栽培施設 (最上町) ・枝打ち実習 (舟形公社造林地)
12	上 中 下		高性能林業機械操作	木材流通 木質バイオマス	・高性能林業機械の基本操作	・木材市場、製材所、集成材工場、バイオマス利用施設等 (県内)
1	上 中 下	間伐設計 (伐採)	小型移動式クレーン技能講習	製材実習	・卒業論文計画 ・冬期間伐の基礎 ・製材実習	・冬期間伐実習 (清水県営林)
2	上 中 下	間伐設計 (伐採) スノートレッキング 気象害調査		広葉樹活用 炭焼き	・木炭の製造方法 ・広葉樹の活用 ・雪害調査 ・冬期伐採	・冬期間伐実習 (清水県営林)
3	上 中 下				・卒業論文計画発表会	

2 学年 教育計画 [ 稲作経営学科 ]

氏名	卒論課題名	課題の内容	主な指導事項
阿部 快音	「こゆきもち」の密苗栽培による省力化と栽培特性の把握	「こゆきもち」での密苗栽培における栽培特性を把握するとともに、密苗栽培で苗質が劣った場合の生育への影響についても調査する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>密苗栽培の特性把握</li> <li>健苗育成</li> <li>経営分析</li> </ul>
阿部 海羽	疎植栽培における施肥体系の検討及び植付深の違いによる生育の比較	疎植栽培における分施肥体系と全量基肥一発体系での生育や収量の違いを検証する。また、深植による生育への影響についても調査する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>疎植栽培の特性把握</li> <li>分施肥および全量基肥一発体系の肥効の把握</li> <li>経営分析</li> </ul>
五十嵐 空	大規模経営に対応した「つや姫」の低コスト栽培の検討	「つや姫」について、密苗栽培やプール育苗、化成 100%肥料の活用による低コスト栽培体系について検証する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>「つや姫」密苗栽培の特性把握</li> <li>経営分析</li> </ul>
井上勝太郎	バイオマス液肥を活用した安定多収栽培と折衷苗代を活用した栽培技術の検討	飯豊町で生産されているバイオマス液肥を基肥として活用した場合の生育や収量性について調査する。また折衷苗代苗を使った場合の栽培特性についても検証する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>バイオマス液肥を活用した多収栽培体系の検証</li> <li>折衷苗代苗の特性把握</li> <li>経営分析</li> </ul>
井上 拓海	「ふくひびき」を用いた置賜式密封鉄コーティング直播栽培の検討	飼料用品種「ふくひびき」を活用し、催芽籾と酸化鉄を用いた「置賜式密閉鉄コーティング直播」の多収栽培体系について検証する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>置賜式密封鉄コーティング直播の栽培特性の把握</li> <li>経営分析</li> </ul>
工藤 大和	ドローンによる水稻直播（散播）の栽培特性の検討	ドローンによる直播栽培（散播）の栽培特性を把握し、省力低コスト性について検証する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>ドローン直播（散播）の栽培特性の把握</li> <li>経営分析</li> </ul>
小池 裕太	前作管理及び畝間かん水が大豆の品質収量に与える影響の検討	前作の違い（水稻・畑）が生育に与える影響について調査する。また、開花期前に畝間かん水を実施することで品質収量の向上に影響があるか検証する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>前作管理が異なる場合の栽培特性の把握</li> <li>畝間かん水による品質収量への影響の検証</li> <li>経営分析</li> </ul>
佐藤 聖	水稻作における蒸製骨粉の適切な施用量の把握及び米の米粉化の検討	ラーメンスープを煮出した後の骨からできた蒸製骨粉をリン酸資材として活用した場合の栽培特性について調査する。また、生産した米から米粉→米粉麵に加工した場合のコストについて検証する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>蒸製骨粉のリン酸資材としての栽培特性の把握</li> <li>米粉麵の製造にかかるコストの検証</li> <li>経営分析</li> </ul>
佐藤 楓真	密播疎植栽培の生育及び収量性の検討	播種量と栽植密度を変えた場合の生育および収量について調査し、省力低コスト性について検証する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>密播疎植栽培の特性把握</li> <li>経営分析</li> </ul>
高橋 由伸	疎植栽培での品種間差の検討及び苗質が生育に与える影響の把握	「はえぬき」「雪若丸」の疎植栽培における生育および収量品質について調査する。また、苗質が変わった場合に生育や収量品質にどのような影響があるか調査する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>疎植栽培の特性把握</li> <li>経営分析</li> </ul>

皆川 太平	家畜由来資材を使用した置賜式密閉鉄コーティング直播栽培の検討	置賜式密封鉄コーティング直播栽培において、牛ふん堆肥や発酵鶏ふん等の家畜由来資材を使用した場合の生育や収量について調査する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 置賜式密封鉄コーティング直播の栽培特性の把握</li> <li>• 化成肥料を使用しない栽培体系の検討</li> <li>• 経営分析</li> </ul>
-------	--------------------------------	--	---

2 学年 教育計画 [ 果樹経営学科 ]

氏名	卒論課題名	課題の内容	主な指導事項
石川達也	ブドウ「ピオーネ」におけるジベレリン処理方法の違いによる作業の省力化	作業の省力化を図るため、ジベレリン処理を省略、あるいは回数を減らした栽培方法と、一次果梗を利用した果穂整形による無摘粒の栽培方法を検討する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>ブドウの栽培技術と知識</li> <li>果穂整形とジベレリン処理の方法</li> <li>摘粒技術</li> </ul>
井上大誠	ジベレリン一回処理によるブドウ「巨峰」の栽培	「巨峰」の着色向上を図るため、ジベレリン処理の回数を減らした栽培方法の検討と、そのためのジベレリン処理の適期を把握する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>ブドウの栽培技術と知識</li> <li>ジベレリン処理の適期の把握</li> </ul>
大類彩姫	早期摘葉と反射シートを敷かない栽培でリンゴの省力化を目指す	リンゴの葉摘み作業を早期に行い、作業時間の省力、分散化を図る。また、徒長枝管理を行って樹冠下の光環境の改善を行い、反射シートを用いない着色管理が可能か検討する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>リンゴの栽培技術と知識</li> <li>着色管理の方法と適期の把握</li> </ul>
奥山秀太	オウトウ「佐藤錦」における省力化を目指した新たな着色管理法及び「紅秀峰」における散水氷結法による芽の枯死率低下	オウトウの省力化を図るため、反射シートに代わる資材を用いた、設置・撤去に手間のかからない着色管理の方法を検討する。また、防霜対策として、散水氷結法の効果を検証する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>オウトウの栽培技術と知識</li> <li>防霜対策の方法</li> <li>着色管理の方法と適期の把握</li> </ul>
尾崎巧菜	西洋ナシ「ラ・フランス」「バラード」における早期着果管理と着果数増加による品質と収益の向上	「ラ・フランス」の品質向上のため、摘蕾を中心とした早期着果管理と植調剤を組み合わせた栽培方法を検討する。また、「バラード」の収益向上を図るための着果数を検討する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>西洋ナシの栽培技術と知識</li> <li>着果管理方法</li> <li>植調剤の使い方</li> </ul>
柏倉悠太	モモの枝折れ被害削減並びに作業効率上昇を目指すハウス栽培の検討	モモの雪害等による枝折れ防止や作業省力のため、雨よけハウスのように組んだパイプからの枝吊りの効果の検証を行う。	<ul style="list-style-type: none"> <li>モモの栽培技術・知識</li> <li>施設の構造、組み方</li> <li>雪害防止法</li> </ul>
川越 桜	ブドウ「シャインマスカット」の副梢管理、着房位置による果実肥大の調査	「シャインマスカット」の品質向上のため、副梢管理の方法や着房位置を変えた栽培方法を検討する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>ブドウの栽培技術・知識</li> <li>副梢管理の方法</li> <li>果房の管理方法</li> </ul>
河田夕佳	訪花昆虫による「さくら白桃」の着果量の確保と「まどか」の早期着果管理による作業時間の分散と省力化の検討	モモの着果量確保のため、訪花昆虫導入の効果を検証する。また、早期着果管理を行い、作業の分散化と品質の向上を図る。	<ul style="list-style-type: none"> <li>モモの栽培技術・知識</li> <li>結実確保対策</li> <li>着果管理の時期と方法</li> </ul>

酒井英太	ブドウ「シャインマスカット」における1回目のGA処理後の早期摘粒が果実品質に及ぼす影響	高品質な「シャインマスカット」の栽培のため、GA処理1回目後の早期摘粒の効果を検証する。また、違う色の袋を用いた場合の果実品質への影響を検討する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>ブドウの栽培技術・知識</li> <li>摘粒技術と時期の把握</li> <li>袋掛けについて</li> </ul>
多田えり子	オウトウ「紅秀峰」の下部多収を目的とした新技術「摘花」の実施による果実品質の安定及びハーブエッセンスによる訪花昆虫の訪花率向上の検討	オウトウについて、観光果樹園向けに、摘花を用いた樹の下部に多く成らせる着果方法を検討する。また、ハーブエッセンスの誘蜂効果と結実確保について検証する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>オウトウの栽培技術と知識</li> <li>着果管理について</li> <li>結実確保対策</li> <li>訪花昆虫について</li> </ul>
増川創太	ブドウ「シャインマスカット」のジベレリン一回処理による省力化の検討	「シャインマスカット」栽培の省力化を図るため、GA処理を1回のみ行う栽培方法について検証する。また、700g台の大きな房を作るための果穂整形についても検討する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>ブドウの栽培技術・知識</li> <li>果穂整形とジベレリン処理の方法</li> </ul>
山口あかり	ブドウ「デラウェア」の早期被覆、早期ジベレリン処理による早期収穫及びLED光利用による着色方法の検討	「デラウェア」の収穫期を早めるため、ハウス側面を含めた早期被覆とジベレリンの早期処理を合わせた栽培を行う。また、収穫後の果房にLED光を照射して、着色が向上するか検証する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>ブドウの栽培技術・知識</li> <li>雨よけ施設の被覆</li> <li>ジベレリン処理の方法</li> <li>LED光について</li> </ul>
渡邊天海	花穂整形で残す房長の違いがブドウ「ハニービーナス」の果実品質に及ぼす影響	1kg程度の大房のブドウを作るため、「ハニービーナス」を用いて、果穂整形時の長さの違いが果房の大きさや果実品質に及ぼす影響を調査する。また、結果枝の結縛処理を行い、果実品質の向上を図る。	<ul style="list-style-type: none"> <li>ブドウの栽培技術・知識</li> <li>果穂整形について</li> <li>環状剥皮処理について</li> </ul>
渡邊涼雅	ブドウ「デラウェア」「シャインマスカット」のジベレリン一回処理による省力化及び果実品質に及ぼす影響について	ブドウの作業省力化を図るため、「デラウェア」のジベレリン1回処理を検討する。また、「シャインマスカット」におけるジベレリン1回処理時の摘粒時期を把握する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>ブドウの栽培技術・知識</li> <li>ジベレリン処理の方法</li> <li>摘粒技術</li> </ul>

2 学年 教育計画 [ 野菜経営学科 ]

氏名	卒論課題名	課題の内容	主な指導事項
阿部 翔太	ねぎの肥料コスト削減と籾殻を活用した雑草防除	就農後、新たにねぎ栽培に取り組む。近年肥料コストが高いため、施肥体系を見直し低コスト化を図る。また、籾殻を活用した雑草防除と調整作業がしやすい品種を検討する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>基本的栽培技術</li> <li>施肥技術と低コスト化</li> <li>出荷調整の効率化</li> <li>経営収支試算</li> </ul>
天野 拓夢	大玉すいかの保存花粉利用と炭疽病対策	大玉すいかの着果安定のため、交配期前の雄花を利用して、花粉を保存し、発芽率と着果率、着果後の品質を調査する。また、我が家で課題としている炭疽病について防除方法と品種を検討する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>基本的栽培技術</li> <li>保存花粉の利用方法</li> <li>炭疽病の防除技術</li> <li>経営収支試算</li> </ul>
太田 楽都	大玉すいかのハウス立体栽培と密植による収量向上	産地の出荷期間の前進化を目的に大玉すいかのハウス栽培を検討する。面積が限られることから、多収を目指し、立体栽培と密植を検討する。また、赤色の果実と同時に黄色の果実とのセット販売を検討する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>基本的栽培技術</li> <li>温度、土壌水分管理</li> <li>販売促進の手法</li> <li>経営収支試算</li> </ul>
岸 勇杜	アスパラガスの収穫作業省力化とハウス栽培の検討	就農後、新規でアスパラガスを導入する。そこで、収穫作業の省力化を図るため西日本で行われている「母茎押し倒し方法」に挑戦する。また、茎枯病の発生が少ないハウス栽培で、秋播きの作型を検討する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>基本的栽培技術</li> <li>温度、土壌水分管理</li> <li>収穫時間の削減</li> <li>経営収支試算</li> </ul>
小塩 華	おかひじきの発芽率向上と二番刈り収穫の検討	おかひじきの発芽は不安定であることから、資材の活用や鎮圧、土壌改良により発芽率向上を目指す。また、二番刈りが可能となるように、一番刈り後の施肥方法を検討し、さらに、販売促進となるレシピを考案する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>基本的栽培技術</li> <li>施肥の考え方</li> <li>販売促進の手法</li> <li>経営収支試算</li> </ul>
近藤 大地	大玉トマトの多収栽培と高温対策	大玉トマトの秋どりの収量向上を目指し、2本仕立て及び側枝果房の利用を検討する。また、秋まで草勢維持しやすい台木の品種比較と夏期の高温対策により障害果の発生を防ぐ。	<ul style="list-style-type: none"> <li>基本的栽培技術</li> <li>草勢維持管理</li> <li>夏期高温対策技術</li> <li>経営収支試算</li> </ul>
佐藤 隆誠	夏秋どりブロッコリーの栽培技術の確立と残渣利用の検討	夏秋どりブロッコリーは高温多湿となり、病害や奇形が発生しやすく、商品率が低い。そのため、黒腐病の防除と資材の活用で商品率向上を目指す。また、収穫残渣が多いため堆肥化が可能か検討する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>基本的栽培技術</li> <li>黒腐病の防除技術</li> <li>高温対策技術</li> <li>経営収支試算</li> </ul>
高橋 清斗	スイートコーンのハウス栽培と品質管理	我が家のスイートコーンの作期拡大を図るため、ハウス栽培を行う。また、コンパニオンプランツに枝豆を利用し、アワノメイガの防除に挑戦する。夏場の収穫時間帯の拡大が可能か品質調査を行う。	<ul style="list-style-type: none"> <li>基本的栽培技術</li> <li>鮮度保持技術</li> <li>食味の評価</li> <li>経営収支試算</li> </ul>
高橋 夢羽	にらの当年どりとトロケ対策の検討	就農後、にら栽培を導入するため、パワフルグリーンベルトを用いて当年どりと直播栽培に挑戦する。また、夏場は出荷先のトロケ症状が課題となっているため、収穫後の調整方法を改善し、発生軽減を図る。	<ul style="list-style-type: none"> <li>基本的栽培技術</li> <li>温度管理技術</li> <li>品質管理技術</li> <li>経営収支試算</li> </ul>

2 学年 教育計画 [ 花き経営学科 ]

氏名	卒論課題名	課題の内容	主な指導事項
小野 美咲	マトリカリアの夏出荷作型の品質向上と日持ち性調査及び需要調査	マトリカリアは生花店で人気が高まっており、周年出荷が求められている。しかし、夏の品質低下と日持ち性が問題となっているため、夏出荷作型での短日処理による品質向上と日持ち性を検討する。また、実需者・消費者のニーズを調査する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 基本的栽培技術</li> <li>・ 生育、品質調査方法</li> <li>・ 開花調節技術</li> <li>・ 切り花品質の評価方法</li> <li>・ 切り花の品質保持方法</li> <li>・ 経営収支、労働時間の評価方法</li> </ul>
佐藤 まどか	カーネーションの夏秋出荷作型における高温対策の検討と日持ち性調査	カーネーションの夏秋出荷作型では、ハウス内が高温となるため、がく割れ等の高温障害が発生し商品化率が低下するとともに、鑑賞時の日持ち性等が問題となっている。そのため、散水による高温障害の軽減、日持ち性調査を行う。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 基本的栽培技術</li> <li>・ 生育、品質調査方法</li> <li>・ 高温対策技術</li> <li>・ 切り花品質の評価方法</li> <li>・ 切り花の品質保持方法</li> <li>・ 経営収支、労働時間の評価方法</li> </ul>
最上 蓮	トルコギキョウの苗貯蔵による作業分散と新資材の検討	トルコギキョウと他品目との労力競合を避けるため、苗貯蔵を活用し、定植時期、収穫時期の労力分散を検討する。また、チップバーン（葉先枯れ）対策として、ホウ素、アミノ酸、カルシウムを混合した新資材による葉面散布を検討する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 基本的栽培技術</li> <li>・ 生育、品質調査方法</li> <li>・ 苗貯蔵技術</li> <li>・ 葉先枯れの調査方法</li> <li>・ 切り花品質の評価方法</li> <li>・ 経営収支、労働時間の評価方法</li> </ul>

2 学年 教育計画 [ 畜産経営学科 ]

氏名	卒論課題名	課題の内容	主な指導事項
荒木 ひかり	自給飼料多給による肥育牛生産技術の検討	肥育牛の飼料費低減を目指し、飼料用米サイレージの発酵特性やし好性、発育等への影響を検討する。また、乳牛向けに調製したトウモロコシサイレージの肥育牛への給与が発育や肉質へ及ぼす影響や育成期の放牧が肥育期間の発育に及ぼす影響を検討する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 飼料用米のサイレージ調製技術</li> <li>・ サイレージ品質分析手法</li> <li>・ し好性評価手法</li> <li>・ 飼料給与設計</li> </ul>
大場 あぐり	発酵代用乳給与とスターター給与方法の工夫による子牛への影響の検討	哺乳子牛の下痢予防等による生産性向上を目的に、生菌剤を活用した発酵代用乳の現場で実践しやすい製造・保存方法を検討していく。また、スターターの給与方法の違いが摂取量や発育に及ぼす影響について検討する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 子牛の哺育技術</li> <li>・ 発酵代用乳の調製技術</li> <li>・ 発酵代用乳品質分析手法</li> <li>・ 血液検査手法</li> </ul>

2 学年 教育計画 [ 農産加工経営学科 ]

氏名	卒論課題名	課題の内容	主な指導事項
阿部 尚洋	山形県産の蕎麦を使った菓子の開発	道の駅等での販売を視野に、山形県産の蕎麦を使った菓子を開発する。蕎麦粉を使ったドーナツを検討し、土産品及びその場で食べられる菓子の両面から検討を行い、試食評価、改善を行う。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・試作製造（菓子）</li> <li>・食品品質評価</li> <li>・試験販売</li> <li>・経営試算</li> </ul>
阿部 令	果実とヨーグルトを使った加工品の開発	ヨーグルトと村山地域の特産品である果実を組み合わせ、果実の一次加工の検討を実施すると共に、濃い果実の味わいを堪能できるフルーツヨーグルトの開発に取り組む。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・試作製造（一次加工、ヨーグルト）</li> <li>・食品品質評価</li> <li>・試験販売</li> <li>・経営試算</li> </ul>
五十嵐史哉	庄内特産品目を使用した加工品の開発	自家栽培の米と枝豆の活用をめざし、枝豆を使った甘酒の製造開発を行う。また、組合せ商品として、柿入り甘酒の製造にも取り組み、渋戻りのない甘酒の開発を行う。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・試作製造（一次加工、麴、飲料）</li> <li>・食品品質評価</li> <li>・試験販売</li> <li>・経営試算</li> </ul>
金子 そら	米粉餡を用いた新たな加工品の開発	村山市の新たな特産品づくりとして、米粉を使った新たな素材「米粉餡」を入れた「大福」や「パウンドケーキ」を開発する。村山市特産の食用バラを組み合わせたバラ米粉餡の開発にも取り組む	<ul style="list-style-type: none"> <li>・試作製造（米粉加工、食用花加工）</li> <li>・食品品質評価</li> <li>・試験販売</li> <li>・経営試算</li> </ul>
今野 龍陽	枝豆を活用した菓子の開発	庄内地域の特産品の一つである枝豆を活用した焼き菓子商品開発を行う。庄内町等の直売所での製造及び販売を想定し、枝豆の一次加工と「パウンドケーキ」や「クッキー」開発に取り組む。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・試作製造（一次加工、菓子類）</li> <li>・食品品質評価</li> <li>・試験販売</li> <li>・経営試算</li> </ul>
齋藤 彩哉	製粉の質の向上方法と自家米を使用した米粉加工品の開発	米粉を使った地域の新たなメニュー開発をめざし、実家経営の飲食店を中心にした米粉入り餃子の皮と米粉入りワントンの皮の開発に取り組む。米粉入り餃子の皮を活用した菓子開発にも取り組む。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・試作製造（米・米粉加工）</li> <li>・食品品質評価</li> <li>・試験販売</li> <li>・経営試算</li> </ul>
佐藤 直希	米を使用した焼肉のたれの開発	果実中心の直売所に新たな特産品を提案するため、米を使った焼肉のたれの開発に取り組む。米の色等を生かした手軽に使える調味料としてのたれを開発し、地域の新たな特産品づくりを目指す。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・試作製造（麴、一次加工、ソース類）</li> <li>・食品品質評価</li> <li>・試験販売</li> <li>・経営試算</li> </ul>
松本 幸也	ゴーダチーズの製造方法の検討と焼き菓子の開発	農大で販売するチーズの種類を増やすために熟成タイプであるゴーダチーズの製造方法を検討し、マニュアルを整備する。また、副産物であるホエーを使い、菓子やドリンクを開発する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・試作製造（ゴーダチーズ、菓子）</li> <li>・食品品質評価</li> <li>・試験販売</li> <li>・経営試算</li> </ul>



2 学年 教育計画 [ 林業経営学科 ]

氏名	卒論課題名	課題の内容	主な指導事項
相澤 蓮	森林資源を活用した伝統工芸品と資源の現状に関する調査	地域の森林資源を活用した伝統工芸品の把握と資源の現状について調査し、原材料調達における林業事業体との連携の可能性について検討する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>森林資源の活用方法</li> <li>アンケート調査</li> <li>林業事業体への情報提供</li> </ul>
池田 侑輝	地上レーザー計測による森林資源情報の見える化	地上レーザーを活用した森林資源情報の見える化により、森林所有者への間伐の提案を行い、森林整備への理解が進み集約化による収益性の向上に貢献することを目的とする。	<ul style="list-style-type: none"> <li>林分調査</li> <li>地上レーザー計測、解析及び解析データを活用した間伐の見積作成</li> <li>将来の森林管理の提案</li> </ul>
大石 桐子	自家所有林を活用した広葉樹活用方法の検討	自家所有林はコナラの優占する広葉樹林がほとんどであるが利用はされておらず放置されている。この自家所有林を調査し、広葉樹林の活用方法を検討する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>林況調査</li> <li>目標林型の設定と森林整備計画</li> <li>広葉樹伐採、きのこ栽培</li> </ul>
大類 皐太	スズメバチ被害軽減に向けた対策の検討	実習フィールドである才治沼実習林と下刈実習予定地のハチトラップ設置による効果の検討と森林組合におけるハチ被害への取組を調査し被害予防・軽減対策について検討する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>ハチトラップの設置と回収</li> <li>ハチ種類の同定</li> <li>森林組合へのアンケート調査及びとりまとめ</li> </ul>
落合ひらり	森林・林業への理解促進につながる木育の実施方法の検討	次世代を担う若者、特に小学生を対象とし森林・林業への理解度を高めることを目的とした木育プログラム・アクティビティの作成及び実施、検証を行う。	<ul style="list-style-type: none"> <li>アンケート調査及びとりまとめ</li> <li>木育プログラム作成</li> <li>木育実施及び評価検証</li> </ul>
鈴木 大地	有用広葉樹資源の活用に向けた調査	原木市場において高付加価値で取引される広葉樹の材質調査及び製材関係者への聞き取りを行い、採材時の留意事項について伐採現場技術者へフィードバックを行い、広葉樹資源の有効活用につなげることを課題とする。	<ul style="list-style-type: none"> <li>広葉樹原木の材質調査と聞き取り調査</li> <li>材質調査データとりまとめ</li> <li>広葉樹の木取り</li> </ul>
高橋 幸太	才治沼実習林広葉樹二次林における更新ユニットの設定	才治沼実習林広葉樹二次林における更新方法別の森林区分となる更新ユニットを設定するとともに、更新に関する学生の学習フィールドとしての利用の検討。	<ul style="list-style-type: none"> <li>実生、植栽稚幼樹刈出し</li> <li>広葉樹二次林の分類化</li> <li>更新ユニット設定にあたっての技術的視点</li> </ul>
千葉 嶺光	民有林における一貫作業システムの実態と今後の普及に向けた検討	県内の民有林で実施予定の一貫作業の実施状況を把握し、コスト低減効果の試算、民有林における普及に向けた検討を行う。	<ul style="list-style-type: none"> <li>林分調査</li> <li>コスト試算</li> <li>聞き取り調査</li> </ul>
中嶋 紫雲	航空レーザー計測データを用いた間伐設計の実施方法の検証	間伐実習予定地である真室川県営林において、航空レーザー計測データを用いた要間伐林分の把握と間伐設計への応用について検証する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>林分調査</li> <li>航空レーザー計測データ活用</li> <li>ドローン写真撮影、オルソフォト、3Dモデル作成、QGISによる解析</li> </ul>
本間 大翔	農林大学校卒業生の林業事業体における業務内容と課題の把握	林業経営学科の卒業生にこれまでの業務内容や課題をアンケート調査し、林業経営学科就職ガイダンス資料として取りまとめる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>アンケート調査及びとりまとめ</li> <li>聞き取り調査</li> </ul>
松田 紘	利用間伐における労働生産性と林内路網配置の関係	利用間伐における高性能林業機械等を使用した作業システムと林内路網配置の関係に着目し、労働生産性を高めるための森林作業道の配置について検討する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>路網配置と集材方法の関連性</li> <li>路網と作業システムの関係</li> </ul>

## 令和5年度地域協働研究プロジェクト

<ねらい>

地域の振興や活性化に繋がるばかりでなく、学生の地域に対する愛着や誇り、コミュニケーション能力を養い、本校の掲げる目標である「優れた担い手及び地域リーダーの育成」に必要な資質の向上を目指す。

令和23年度に試行し、平成24年度から教育計画に盛り込み1学年の必修科目として実施している。

学科	プロジェクト名	取組内容	連携先
稲作経営学科	地域の未利用資源活用PJ	バイオガス発電の副産物として生産される「バイオマス液肥」を有効活用し耕畜連携を進めるため、肥料・土壌改良資材としての有効性を明らかにする。プロジェクト活動を通し、肥料の価格高騰の解決策について考え、地域資源を有効活用する「環境保全型農業」について学び、就農への不安を和らげる。	東北おひさま発電株式会社
果樹経営学科	最上さくらんぼの生産振興PJ	本校は、新興産地である当地で長年さくらんぼ栽培に取り組んでいる。園芸農業研究所の最新の研究成果であるさくらんぼのY字栽培や山形C12号について、最上地域における特性を把握し、生産者と技術交流を図り、地域におけるさくらんぼの生産振興に寄与する。また、結実対策や着果管理、着色管理の徹底による高品質安定生産の実証調査を生産者と共に行い、最前線の栽培技術に取り組むことで現場即応力を身に付ける。	最上さくらんぼブランド確立PJ推進協議会
野菜経営学科	希少伝統野菜の系統維持・増殖PJ	伝統野菜のブランド化は注目されているが、高齢化により取り組みが進みにくい状況である。舟形町の西又かぶは、生産者が1戸となり、採種が課題となっている。地域と連携して確実に採種し、特性調査等を行いながら、生産者拡大に向けて生産から販売までの検討を行う。	最上伝統野菜推進協議会、舟形町、堀内ファーム
花き経営学科	～花を身近に～最上の花き強化PJ	管内花き栽培者や関係団体が行っている花きのPRイベントに参加し、花育教室を開催し、消費者に花きの魅力を発信する。また、新たな花材・栽培方法の検討として、多雪地帯の特徴を活かした枝物花木の抑制栽培と安定出荷技術の検討を先進農業者と取り組む。これらの活動を通して、生産者、生花店、関係機関団体の交流を図るとともに、マーケティングや立地条件を生かした営農の重要性を気づかせ、学生の就農意欲を喚起、就農後の定着促進を促す。	最上広域花き振興協議会、やまがたフラワーフェスティバル実行委員会等、JAおいしいもがみ
畜産経営学科	自給飼料多給による和牛肉生産PJ	輸入飼料を原料とした飼料価格高騰による畜産経営の逼迫は学生の就農意欲を低下させる懸念がある。そこで、若手経営者と連携した自給飼料多給による肥育牛生産に取り組む、地域への関心を促すとともに持続可能な畜産経営の理解醸成を図る。	若手繁殖経営体、畜産研究所、酒田農業技術普及課、庄内家畜保健衛生課
農産加工経営学科	アスパラガスを活用した加工品開発PJ	最上町の特産品であるアスパラガスを利用した商品開発に取り組む、令和5年秋に開業予定の「道の駅もがみ」(仮称)での販売を主体とした開発を進める。商品開発にあたっては、アスパラガスを活用した加工品開発を継続し、アスパラガスの消費を拡大やイメージアップについても留意し、商品化の取組みを強化する。あわせて、山辺高校食物科の学生と連携し、農産加工を通して農業に対する関心を誘発する取り組みを行う。	最上町、山辺高等学校食物科
林業経営学科	新庄神室産業高等学校と連携した若手林業者育成PJ 目指せ、森林人!	新庄神室産業高等学校と農林大学校林業経営学科の学生が新庄市内の山林での学習を通して、若者の視点からの森林や林業の魅力を共有することで、若手林業者の育成と森林や林業の大切さを理解できる若者“森林人”の育成を図る。	新庄神室産業高等学校

## VIII 教育指導体制

校 長 菊地 繁美  
 副 校 長 小山 和彦  
 副 校 長 高梨 良子  
 副 校 長 石垣 仁  
 事務局長  
 (兼)総務課長 木村 和仁

<p><b>【養 成 部】</b></p> <p>教務学生担当 教 授 高部 真典          教 授 岸 哲嗣          主任指導員 布山 美恵          主任技師 鈴木隆由輝          (兼)指導員</p> <p>調整担当 教 授 西村 満          主任指導員(兼) 須藤 泰典</p> <p>稲作経営学科 教 授 阿部 誠司          主任指導員 阿部 洋平</p> <p>果樹経営学科 教 授 安藤 隆之          准 教 授 鴨田 一作</p> <p>野菜経営学科 教 授 山崎 紀子          主任指導員 高橋 享</p> <p>花き経営学科 准 教 授 工藤 則子          准 教 授 黒坂 美穂</p>	<p>畜産経営学科 准 教 授 菅 和寛          主任指導員 早坂 裕子</p> <p>農産加工経営学科 准 教 授 安達 あい          主任指導員 三浦 明子          実習指導助手 丹 千春</p> <p>林業経営学科 教 授 今田 洋一          教 授 倉本 幸輝          主任指導員 須藤 泰典          主任指導員 吉崎 明          林業技術指導アドバイザー 佐藤 弘一          林業技術指導アドバイザー 沓澤 卓美</p> <p><b>【研 修 部】</b></p> <p>教 授 是川 邦子          主任指導員 飯野 幸弘          主任指導員(兼) 吉崎 明          就農研修アドバイザー 工藤 郁也          就農研修アドバイザー 鈴木 勝治          実習指導助手 高橋 幸美          研修事務 大場 愛美</p>
--	--

### 事務担当職員

<p><b>【総 務 課】</b></p> <p>総務専門員 高橋 友美          総務主査(兼)庶務係長 西塚 友子          主 事 三上あさひ          主 事 矢作 康祐</p>	<p>畜産研究所(兼) 主 査 神子 幸          産地研究室(兼) 主 事 荒井 昂斗          庶務業務 壹谷 紗季</p>
---	--

### 農場管理等職員

<p><b>【総 務 課】</b></p> <p>主任技能員(畜産・研修) 伊藤 幸男          副主任技能員(花き・研修) 阿部 孝樹          研究技能員(総務・林業・研修) 新田 卓史          研究技能員(果樹) 川田 吉久          研究技能員(野菜) 伊藤 麻美          研究技能員(農産加工・研修) 加藤 憲司          研究技能員(稲作・研修) 齋藤 伸二</p>	<p><b>【舎監・警備員・嘱託医】</b></p> <p>舎 監 長澤 伸吉 舎 監 長沼 直樹          舎 監 八畝 君佳 舎 監 佐藤 千代志          舎 監 齋藤 隆 舎 監 鈴木 賢一          警備員 森 勇次 警備員 星川 洋          警備員 吉田 仁 警備員 有田 晃</p> <p>嘱託委 佐野 嘉紘</p>
---	--

# IX 令和5年度年間行事予定表

(前期)

4月		5月		6月		7月		8月		9月	
日	曜	日	曜	日	曜	日	曜	日	曜	日	曜
1	土		月		木		1	土		火	
2	日		火		金		2	日		水	
3	月	辞令交付・人事異動発令事項伝達全体会議	水	憲法記念日	土		3	月		木	
4	火	臨時職員会議	木	みどりの日	日		4	火		金	
5	水	臨時指導職員会議 担任会議	金	こどもの日	月		5	水		土	
6	木		土		火		6	木		日	
7	金	新形式・始業式 2学年オリエンテーション	日		水		7	金		月	
8	土		月		木		8	土		火	
9	日		火		金		9	日		水	
10	月		水		土		10	月		木	
11	火	新規就農支援研修開講式	木		日		11	火		金	
12	水	入校式準備	金		月		12	水		土	
13	木	入校式、入寮式 教育振興会1学年保護者会 教育振興会役員会	土		火		13	木		日	
14	金	1学年オリエンテーション	日		水		14	金		月	
15	土		月		木		15	土		火	
16	日		火		金		16	日		水	
17	月		水		土		17	月		木	
18	火		木		日		18	火		金	
19	水		金		月		19	水		土	
20	木		土		火		20	木		日	
21	金		日		水		21	金		月	
22	土		月		木		22	土		火	
23	日		火		金		23	日		水	
24	月		水		土		24	月		木	
25	火		木		日		25	火		金	
26	水		金		月		26	水		土	
27	木		土		火		27	木		日	
28	金		日		水		28	金		月	
29	土		月		木		29	土		火	
30	日		火		金		30	日		水	
31	月		水		木		31	月		木	

月	10月		11月		12月		月	1月		2月		3月		月
日	曜	行事	曜	行事	曜	行事	日	曜	行事	曜	行事	曜	行事	日
1	日		水	集合研修⑤	金	一般選抜合格発表 一般選抜追試会場準備・打合せ 戦略MG研修(研修/一般)	1	月	元日	木	後期試験(1学年・~2) 簿記ソフト研修	金		1
2	月		木	農大祭準備 集合研修⑤	土		2	火		金	簿記ソフト研修	土		2
3	火	フォークリフト研修(学科)	金	農大祭・農大市場④ 三者面談(文化の日)	日		3	水		土		日		3
4	水	担任会議 学校推薦型選抜願書受付 (~10/12) フォークリフト研修(学生)	土		月	一般選抜追試	4	木	仕事始め	日		月	卒業証書授与式準備等	4
5	木	フォークリフト研修(学生)	日		火	集合研修⑦	5	金	担任会議	月		火	卒業証書授与式	5
6	金	フォークリフト研修(研修生)	月	学校推薦型選抜追試入試会場準備 学校推薦型選抜追試打合せ	水	担任会議 集合研修⑦	6	土		火	スキー・スノーボード教室①	水		6
7	土		火	学校推薦型選抜(追試)	木	一般選抜追試合格判定会議	7	日		水	担任会議 全国プロジェクト・意見発表会(~2/9)	木	就職活動キックオフイベント	7
8	日		水	一般選抜願書受付(~15)	金	一般選抜追試合格発表 働きながら稲作⑥ アグリウーマン塾⑤	8	月	成人の日	木		金		8
9	月	スポーツの日	木	インフルエンザ接種 学生会役員選挙 アーク溶接研修	土		9	火	冬期休業明けオリエンテーション	金		土	新校舎への移動	9
10	火		金	学校推薦型選抜追試合格判定会議 アーク溶接研修	日	働きながら果樹(現地)	10	水		土		日	新校舎への移動	10
11	水	働きながら野菜⑥	土	アーク溶接研修	月		11	木		日	建国記念の日	月		11
12	木	学校推薦型選抜願書受付終了	日		火		12	金	創立記念日	月	振替休日	火	新規就農支援研修修了式	12
13	金		月	学校推薦型選抜追試合格発表	水	卒論発表会(~14)	13	土		火	卒業判定会議	水	進級判定会議	13
14	土	(山形県農林水産祭)	火	集合研修⑥	木		14	日		水	スキー・スノーボード教室②	木		14
15	日	(山形県農林水産祭)	水	一般選抜願書受付終了 集合研修⑥	金	冬期休業前オリエンテーション	15	月		木		金	修了式	15
16	月	収穫感謝の会	木		土		16	火		金		土		16
17	火	トラクター研修(研修生)	金		日		17	水	東日本プロジェクト・意見発表会(北海道~1/18)	土		日		17
18	水	体育祭 アグリウーマン塾④	土		月	学生冬期休業(~1/6)	18	木		日		月	春期休業(~4/8)	18
19	木	職員会議、指導職員会議 前期単位認定会議 入試実施委員会(推薦) 衛生委員会⑦	日		火		19	金		月		火		19
20	金	学校推薦型選抜入試会場準備 学校推薦型選抜打合せ	月		水		20	土		火	卒業証書授与式会場準備	水	春分の日	20
21	土		火	職員会議/指導職員会議 衛生委員会⑧ 一般選抜入試実施委員会	木	職員会議、指導職員会議 衛生委員会⑨	21	日		水	職員会議・指導職員会議 衛生委員会⑩	木		21
22	日		水	一般選抜会場準備 一般選抜打合せ	金		22	月	職員会議 指導職員会議 衛生委員会⑩	木	退寮式 卒業証書授与式練習	金	職員会議・指導職員会議 衛生委員会⑪	22
23	月	学校推薦型選抜	木	勤労感謝の日	土		23	火	後期試験(2学年・~1/24)	金	天皇誕生日	土		23
24	火		金	一般選抜 臨時休校	日		24	水		土		日		24
25	水		土		月		25	木	献血	日		月		25
26	木	トラクター試験日(研修生)	日		火		26	金	地域協働研究プロジェクト 発表会	月		火		26
27	金	学校推薦型選抜合格判定会議	月		水		27	土		火		水		27
28	土		火	働きながら果樹⑥	木	仕事納め	28	日		水	卒業論文計画発表会	木		28
29	日		水	学生会総会 交通安全講習会	金	年末年始休業(~1/3)	29	月		木	第2回学校運営評議委員会	金	人事異動発令事項伝達	29
30	月	学校推薦型選抜合格発表	木	一般選抜合格判定会議 戦略MG研修(研修/一般)	土		30	火				土		30
31	火	働きながら果樹⑤	日		日		31	水	アグリウーマン塾修了式			日		31